

あいさつ



本市では、多様化する環境問題に対応し将来の望ましい環境像を実現していくため、市民、事業者、民間団体及び市の4者によるパートナーシップ組織である「かわごえ環境ネット」との協働により、平成20年1月に「川越市環境行動計画『かわごえアジェンダ21』」を策定し、市民や事業者など、それぞれの主体による環境に配慮した行動を促進してきました。

このような取組をさらに推進していくため、このたび、同計画を改定し、新たに「川越市環境行動計画」を策定しました。本計画では、市民のほか、事業者や民間団体に属する人など、本市に関わる一人ひとりが取り組むべき具体的な行動等について記載しており、どれくらい環境に配慮した行動ができているか自ら採点できるチェックシートも用意しています。

平成28年3月に策定した「第三次川越市環境基本計画」と連動し、今後も、望ましい環境像「みんなでつくる、自然・歴史・文化の調和した人と環境にやさしいまち」の実現に向けた取組を進めていきたいと考えておりますので、みなさまのより一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

平成29年2月

川越市長 川合善明

かわごえ環境ネットは、平成12年8月の設立より、市民・事業者・民間団体・行政の協働で、川越市の望ましい環境像「みんなでつくる、自然・歴史・文化の調和した人と環境にやさしいまち」の実現をめざして、長年にわたり活動を行ってまいりました。

新たな「川越市環境行動計画」は、平成20年1月に策定された川越市環境行動計画「かわごえアジェンダ21」の改定について川越市から依頼を受け、3年間で34回の会議を開催し、社会情勢や地域事情、計画の推進状況をふまえて構成や内容を見直し、川越市と協働で作成したものです。

本計画では、市民や、市内の事業者・民間団体に属する人など、川越市に関わりのある一人ひとりが取り組むべき環境に配慮した行動等を定めています。

特に、「環境に配慮した行動」はチェックシート形式となっていて、得点を見て行動を振り返り、見直すことができます。本計画を日ごろの生活や事業に生かし、望ましい環境像実現のために行動しましょう。

平成29年2月

かわごえ環境ネット理事長

小瀬 博之